



前進

第4号

6月2日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎多大なる義援金を頂戴しました

5月27日（金）に、校長室に来客がありました。おいでになられたのは、花岡西で吉田菓子店を営んでおられた吉田善三様の奥様とご息女の2名でした。

吉田善三様は、今年3月にご逝去されたとのことでした。以前、佐敷小は遠足時にお菓子をまとめて購入させていただいた経緯等もあり、「お世話になった佐敷小に役立ててほしい」という吉田様のご遺志により、奥様とご息女が多大な義援金をご持参くださいました。佐敷にあった吉田様のご自宅も、令和2年7月豪雨で多大な被害を受け、避難先で芦北への想いを日々募らせておられたことと思います。本校へのお心遣いに、本当に感謝の気持ちで一杯です。

被災以来、佐敷小の復旧・復興に向けて、子供たちは多くの方に支えていただいていることを実感しながら生活してきました。いろいろな苦労もありましたが、現在学校生活が順調に行えているのは、多くの方のご支援・ご協力があったからです。それらへの「感謝の気持ち」が時間の経過とともに風化しないよう、今回の吉田様のご厚意の意義を子供たちに伝え、「感謝の気持ちを忘れないこと」「将来にわたって、苦しんでいる人・困っている人を助けられる人になってほしいこと」を再度話したいと思ひます。

いただいた義援金は、老朽化が進んだサッカーゴールの購入など、子供たちの学校生活が充実するために今後有効に役立たせていただきたいと思います。私自身、子供たちのより良い成長をもって、多くの方への恩返しになるように日々励んでいきたいと深く感じた出来事でした。

いただいた義援金は、老朽化が進んだサッカーゴールの購入など、子供たちの学校生活が充実するために今後有効に役立たせていただきたいと思います。私自身、子供たちのより良い成長をもって、多くの方への恩返しになるように日々励んでいきたいと深く感じた出来事でした。

◎引き渡し訓練、お世話になりました

5月27日（金）には、大雨警報が発令されたという仮定で、保護者の皆様には引き渡し訓練に参加いただき、本当にありがとうございました。おかげ様で特にトラブルもなく、順調に訓練を実施できました。



災害や思いもかけない事件など、起こらないに越したことはありませんが、万が一に備えて本訓練を実施しています。これから梅雨入りし出水期になります。子供たちの安全確保を、学校・家庭・地域と協力して行っていきたくと思います。

なお、芦北町のご支援により、砂利が敷いてあった駐車場については舗装工事が終了し、駐車ラインも引いていただきました。今回のような場合にはより使用しやすい環境になっています。ただ、校内に車を入れられる際には、子供たちが近くにいるという前提で、運転には細心の注意をはらっていただくようお願いします。

◎第1回佐敷中学校区学校運営協議会を開催しました

5月31日(火)に、第1回佐敷中学校区学校運営協議会が佐敷中学校で開催されました。今年度から芦北町では中学校区ごとにコミュニティ・スクールを導入し、学校と保護者・地域が連携・協働して学校づくりを行っていきます。第1回目は、委員の委嘱、コミュニティ・スクールについての



共通理解、役員体制づくり、協議等を行いました。今年度の本校の学校経営方針については承認をいただきました。会議の中でいただいたご意見を、今後の学校経営に活かしていこうと思います。なお、第2回目は7月に佐敷小学校で開催予定です。

◎5・6年生ありがとう

5月30日(月)4校時に6年生、31日(火)1校時に5年生がプール掃除を行いました。6年生はプールの内側を、5年生はプールの周辺をブラシで頑張ってくれられました。プールの内側は1時間では時間不足だったため、職員が仕上げを行いました。上級生としての



の自覚が子供たちの一生懸命さを引き出してくれたのだと思います。

【校長室から】今年佐敷小学校は創立150周年を迎えます。秋に記念式典を行う予定で、現在その計画づくり、準備を進めているところです。詳細につきましては、今後お知らせいたします。保護者の皆様にもお願いすることが多々あるかと思いますが、子供たちが様々な人に支えられていることを実感し、歴史ある佐敷小の一員として自覚と誇り(スクールプライド)を持てるよう、日々の指導を行っていこうと思います。